

## 令和7年 ぼちぼちの会研修会報告

令和8年2月14日(土)14時から

本年度のぼちぼちの会の研修会を臨床心理士の武部 愛子先生を講師にお招きして下記の要綱で実施しました。当日の参加者は17名ほどで、保護者をはじめ、教育委員会・若者総合支援センター・支援学級担任・SSW・SCなど幅広く参加されました。講演の前半はテーマに沿ったお話、後半は、講師の先生に具体的な質問などを行い研修を深めることができました。武部先生のお話を聞くのは今回で13回目。他の保護者の会の学習会を含めるとかなりの数になります。しかし、お話を聞かたびにその内容が広がっていくのを感じます。今回も質疑応答の時間など先生の具体的な指導を仰ぎながら、単なる知識としてだけでなく具体的な対応法など多くのことを学ばせていただきました。普段から直接生徒や保護者と接して指導をされたり、各地での事例を積み重ねてこられている先生の知見故だと思います。ありがとうございました。

### ～思春期・不登校・特別支援教育～

◎日時：令和8年2月14日(土)14時から(受付13:30)

◎場所：福岡市立若久公民館 講堂(福岡市南区若久1丁目11-20)

◎講師：武部 愛子 先生(臨床心理士)

◎内容 ～思春期・不登校・特別支援教育～

生徒の進路情報・発達段階と親の関わり・障がいの理解など

#### 講師プロフィール



- ・臨床心理士 ・福岡こども短期大学 子ども教育学科 特任教授
- ・福岡市教育委員 ・福岡市スーパーバイザー
- ・学童保育協会副理事長・福岡県臨床心理士会代議員
- ・博多学園高校スクー ルカウンセラー

#### ぼちぼちの会 学習会(武部愛子先生)感想

○武部先生の研修会に初めて参加させていただきました。

不登校経験で親も相当苦しい思いをしました。

現在アルバイトをしていますまだまだ見守りが必要な20代です。

心から笑っている笑顔をずっと見るできない日々です。

会話を嫌われており、今は食事を食べてくれるだけでも良かったと やっと思えるようになりました。(思えない日も大いにあります)

あの時こうすればよかったと思うこともあります、一生懸命頑張った自分自身もほめたいと思っています。

○武部先生の子育ての話、とても心にしみました。楽しく笑わせていただきました。質問された方の勇気も素晴らしかったです。

○初めて参加させていただきました。支援にかかわっている者です。

具体的な事例(お子さんのお話)がものすごくわかりやすくわが子との共通点多すぎて、うなずきすぎるくらいでした。

「学校をうまく使う」「何を学んでほしいか」「将来をイメージする。でも、将来はだいぶ先です」など、とても参考になりました。

「すべての経験は子どもの力になる」本当にそうで、失敗する子どもの権利だと思っています。親がもっと楽に子育てができる社会であってほしいです。武部先生のお話が、今苦しんでいる親子の一人でも多くに届くことを願います。また、学びたいと思いました。ありがとうございました。

○25歳の息子の相談もできる先生に感謝しております。

いつの間にか息子を自分の立場で頑張らせようという思いになっていたことに気づきました。

○お話ありがとうございました。わかっているようで、改めて気づきがありました。行ける方向へのバックアップ、目指すところを明確にする。子どもの気持ちを聞く。子どもに空白を持たせる。わかってくれる期待がある。など、知識をアップデートできたと思います。

「普通笑顔の出る家庭」で、子どもも親もお互いに育っていかれたらと、思います。

○子どもの将来を心配し、子どもを信じてゆっくり見守ることを忘れてしまっていた気がします。五月雨登校でも頑張っている子どもをほめながらも、すぐ次を求めてしまったり。お話を聞き今だけを見て私が浮き沈みせず笑顔がこれからも増えるよう、子どもを丸々認めてあげようと思います。 自分のごとも！本日はありがとうございました。

○たくさんのお話を聞かせていただき、心が軽くなりました。

今まで、いっぱい、いっぱいになり、気づかなかったこと、大切なことに気づかされまし

た。また、ぼちぼちの会にも参加させていただきます。  
ありがとうございました。

○今回で3回目となりますが、毎回学びの多いお話で、また頑張ろうと励まされます。変化の大きい社会だからこそ。子どもの力を信じて、でも、大人としてドンと構えつつ細やかに見ていきたいと改めて思いました。あっという間でした。来年も今から楽しみです。

○ありがとうございました。

小6の子にとっては、小3時「どうして自分はしんどいのか」「自分には他の人みたいにちゃんとできない」という思いを、ある部分納得させてくれたのが「発達検査の結果」であったり、私との振り返り

(+相談)でした。でも、数字や文字がスパーンと頭に入りやすいタイプなので、これが先生のおしゃっていたように、変なふうに自分の枠を固める方向にいかないように、発達検査の結果も色んな情報の一つと思えるくらい、普段の会話や笑いを大切にしていきたいと感じました。色々な状況や立場の方のお話や相談を聞いて、自分だったらどうするだろう、先生の視点になるほど…と学びがたくさんありました。

○本日は、途中からの参加となりましたが、貴重なお話、気づきを与えて下さり、ありがとうございます！！

「本人はどうしたいのか？」という気持ちで声掛け、今回の話を参考にしていきたいと思えます。

